

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6 年 3 月 30 日

公表:令和 6 年 4 月 1 日

事業所名 希望の丘蒲郡

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		遊びの内容により机や遊び道具の配置を移動するようにしている。	
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		その日に気付いたことを言ったり、伝えられない場合は後日に伝え、共有して問題意識を持つようになっている。 振り返りの時間があまり持てていない。 その日その日の振り返りをこまめに行いたい。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	開所1年目なので、来年度より評価表を活用し改善していく。保護者等の意向をもっと知りたいと思う。	アンケートでいただいたご意見等を職員間で把握、検討し、業務改善につなげていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	開所1年目なので今年度のもので4月より公表していく。まだ1年目のため公表できていない。	今回は第1回目となります。今後年に1度、事業所向け自己評価及び保護者向け評価を実施し、その都度ホームページにて公表していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価をしてもらっていない。	現在外部評価は受けていないので、今後検討します。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に1度パート職員の会議で話したり、研修の要項を提示している。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		契約時やモニタリングの際に保護者のニーズをよく聞きアセスメントをした上で職員で相談しながら計画を立てている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	△	標準化されたアセスメントツールの内容が分からなかったので把握したい。	標準化されたアセスメントツールよりも、目の前の子ども一人ひとりの発達や特性を重視した支援をしています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		季節に合った活動内容を話し合っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		表現あそびや身体を使った遊びなど、活動内容が広がっていくように考えている。	
	13 平日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		多機能型であるため、児発・放デイの子どもがお互いに学べる環境や課題を設定している。	個々の課題はそれぞれ把握していますが、きめ細やかに設定して支援できているとは言いきれないので、日々職員間で課題や支援方法を確認して関われるよう努力していきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	○		活動を準備するが、最初から参加できない子に対しては少しずつ声掛けをしたり、個の意思を尊重しながら行うよう計画している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	△	必ず打ち合わせをする時間が確保できていない時間が取れる時は行っている。もう少し役割分担をして、話し合っただけで支援に入るといいかなと思う。必ずできていないので時間を作り行っていきたい。	出勤時間によっては一部職員には口頭伝達になり、きちんと共有できていないことがあります。ICTを活用したり、書面に残していつでも確認できるようにするなど、全職員の把握につながる方法を考え行っていきたい。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	△	勤務時間の違いがあるため、全員でその日の振り返りを行うことが難しい。気付いた点は共有している。必ずできていないので時間を作り行っていきたい。	退勤時間が異なる職員にも支援終了後に声をかけ、気付きや伝達事項などの聞き取りをするようにしていますが、徹底はできていないと感じます。振り返りは次回支援時の大切な情報となるため、できる限り行うよう努めます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		徹底まではできていないので今後記録を取り活かしていきたい。 気になることで共通認識してほしいケア記録は、ホワイトボードの名前に印を書いて話すようにしている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		関係機関との会議の前や、気になる行動の時に職員間で話している。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者からの電話を受けた場合は学校にて会議を行い、情報共有をしている。 学校へ行き情報共有できるようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	対象者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	△		同法人こども園の卒園児の場合は情報共有出来ているが、その他の園とはできていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	/	/	対象者なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		随時メールにて研修の連絡を受け、出られるものには出ている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		施設内の小規模保育事業の未満児の子どもたちと交流したり、放課後隣の公園に遊びに来る小学生と一緒に遊ぶこともある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		市の子ども部会に参加している。 このような機会には参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		自分は直接会って話すことはなかったが、状況を伝え合った職員から伝達され共通理解を持っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	△		保護者対応の際に身支度のことや視覚で分かりやすくする工夫をお願いすることはあるが徹底できていない。 行っているつもりだができていないのか自信がない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		自分が行っていないので、今後機会があれば一緒に考えていきたい。 いつでも相談を受けることを知らせ、必要のある場合は事業所内相談を受けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	△		今年度2回行った。 保護者同士の連携がもう少し持てると思う。 父母の会を設置していない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時に説明しており、今のところ苦情は無い。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		クラウドサービスにて連絡事項や活動内容をあげている。
	35	個人情報に十分注意している	○		子どもの情報を外部に少しでも話さないよう、職員に徹底して伝えている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		分からない。 今後考え実施していきたい。
				見学はいつでも受け入れを行っていますが、事業所の行事への招待等については行っていないので、どのような形なら実施が可能か今後検討していきます。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		契約時に入所のお知らせの用紙や重要事項説明書にて周知している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		△	訓練時に立ち会ったことがないので今後非常時に備え訓練に立ち会いたい。定期的にもう少し開催できるといいと思う。	利用時間や勤務時間の関係で、子ども職員も全員は経験できていないという状態です。毎回とは言いませんが年間を通して経験が持てるよう、開催頻度や時間帯などを検討していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		今のところ身体拘束が必要な児童はいない。	現在対象者になり得る利用児はいませんが、身体拘束に関する職員の知識向上には努めていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	/	/	対象者なし	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		会議などで共有している。	